

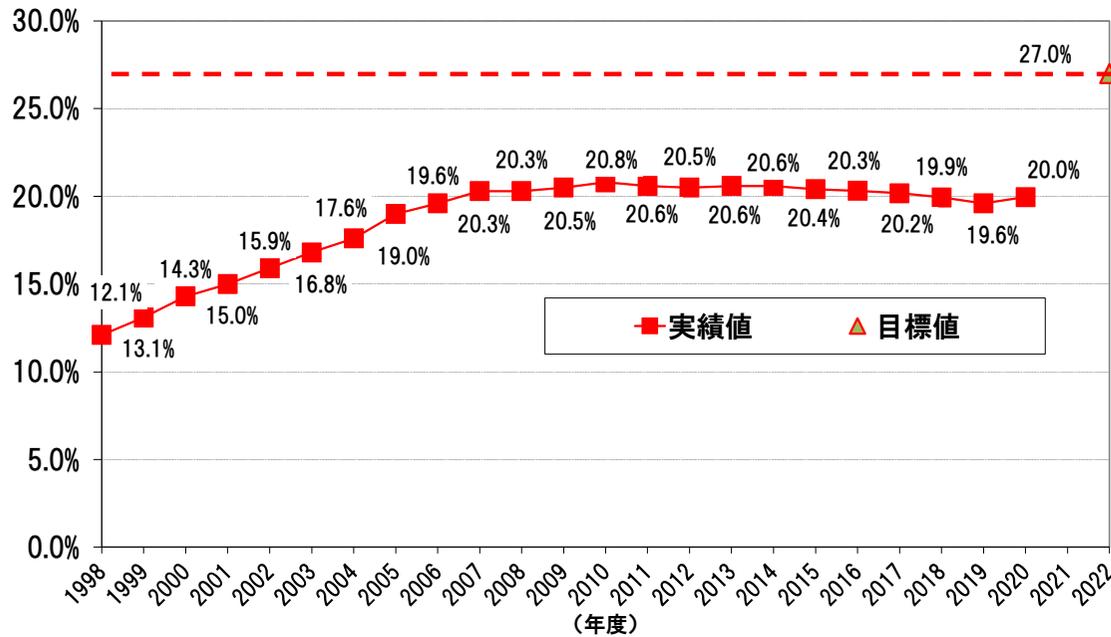
現行の廃棄物処理施設整備計画における指標について

現行の廃棄物処理施設整備計画の指標の進捗状況一覧

目標及び指標		2017年度 実績値	2020年度 実績値	2022年度 目標値
ごみの発生量を減らし、適正な循環的利用を推進するとともに、減量効果の高い処理を行い、最終処分量を削減し、着実に最終処分を実施する。	①ごみのリサイクル率	20.2%	20.0%	27%
	②一般廃棄物最終処分場の残余年数	21.8年	22.4年	20年 (2017年度の水準 (20年分)を維持)
焼却せざるを得ないごみについては、焼却時に高効率な発電を実施し、回収エネルギー量を確保する。	③期間中に整備されたごみ焼却施設の発電効率の平均値	18.6%	20.1%	21% (2018～2022年度 平均)
	④廃棄物エネルギーを地域を含めた外部に供給している施設の割合	40.2%	40.9%	46%
し尿及び生活雑排水の処理を推進し、水環境の保全を図る。	⑤浄化槽整備区域内の浄化槽人口普及率	53.6%	57.7%	70%
	⑥浄化槽整備区域内の合併処理浄化槽の基数割合	64.5%	67.3%	76%
	⑦省エネ型浄化槽の導入によるCO ₂ 排出削減量 (補助指標:先進的省エネ型浄化槽導入基数)	5万トンCO ₂ 家庭用14万基、 中・大型6千基	7万トンCO ₂ 家庭用33万基、 中・大型9千基	12万トンCO ₂ 家庭用42万基、 中・大型18千基

現行の廃棄物処理施設整備計画の指標の進捗状況

①ごみのリサイクル率（一般廃棄物の出口側の循環利用率）

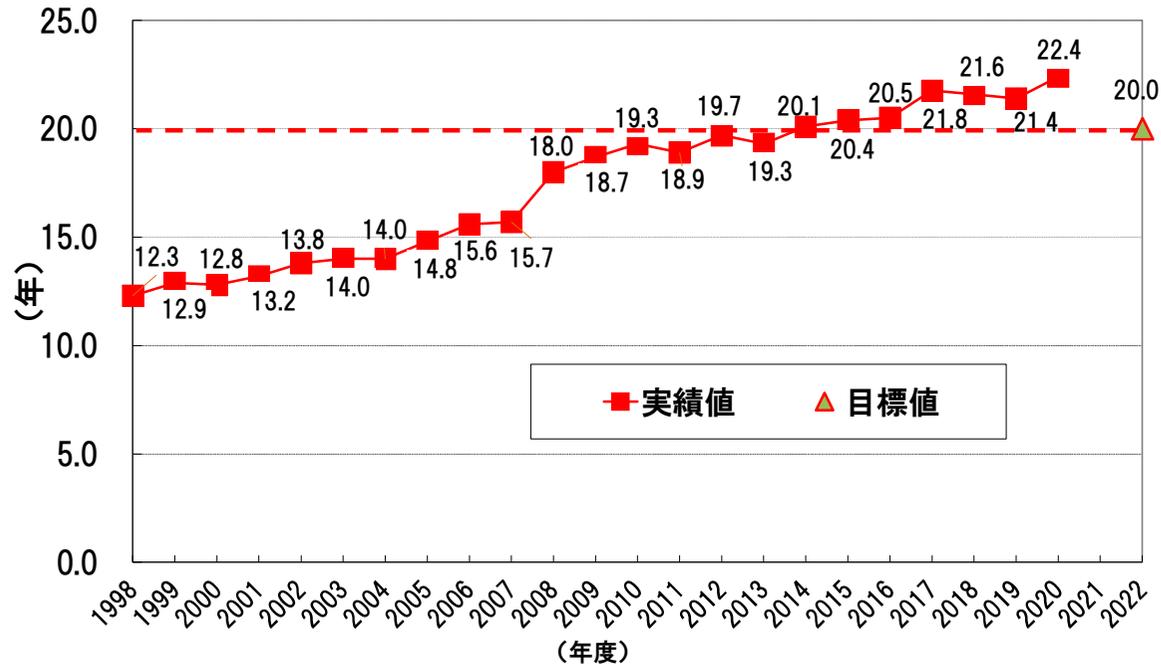


$$\text{リサイクル率 (\%)} = \frac{\text{市町村等による資源化量}^* + \text{集団回収量}}{\text{ごみの総処理量} + \text{集団回収量}} \times 100$$

※市町村等による資源化量 = 直接資源化量 + 中間処理後再生利用量

実績値出典：一般廃棄物処理実態調査（日本の廃棄物処理）

②一般廃棄物最終処分場の残余年数



$$\text{残余年数 (年)} = \frac{\text{残余容量 (m}^3\text{)}}{\text{最終処分量 (t)} \div 0.8163^* \text{ (t/m}^3\text{)}}$$

※埋立ごみ比重（「日本の廃棄物処理 令和2年度版」より）

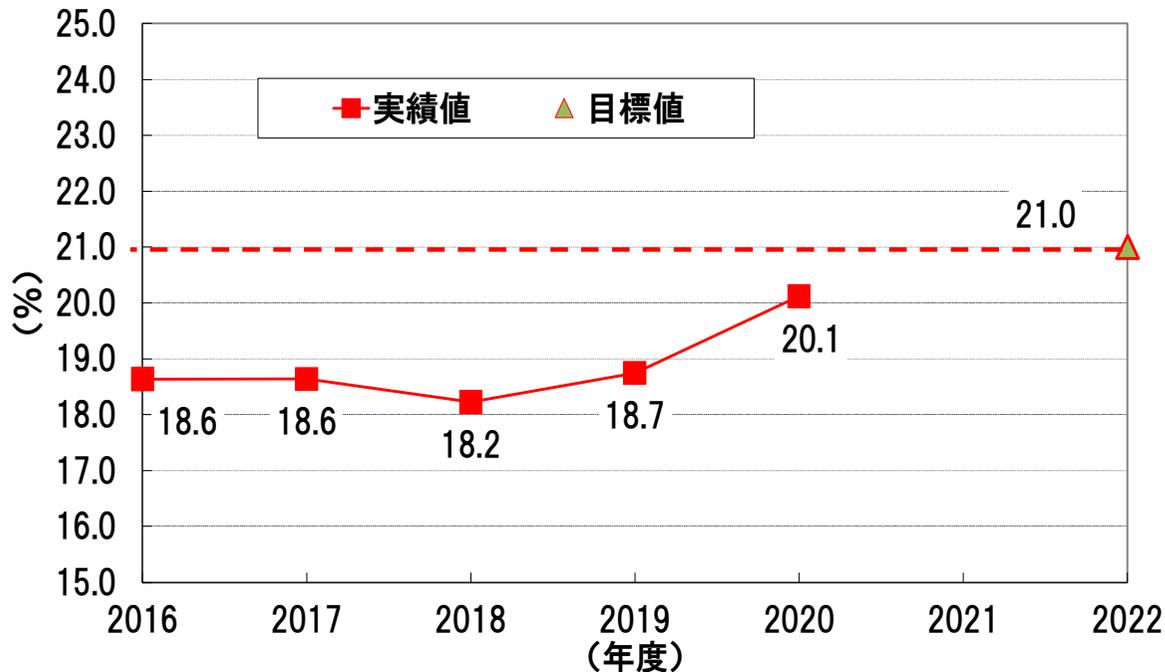
実績値出典：一般廃棄物処理実態調査（日本の廃棄物処理）

注1：最終処分量は埋立ごみ比重で t から m³へ換算した値を掲載

注2：最終処分量に災害廃棄物量は含まれていない

現行の廃棄物処理施設整備計画の指標の進捗状況

③期間中に整備されたごみ焼却施設の発電効率の平均値



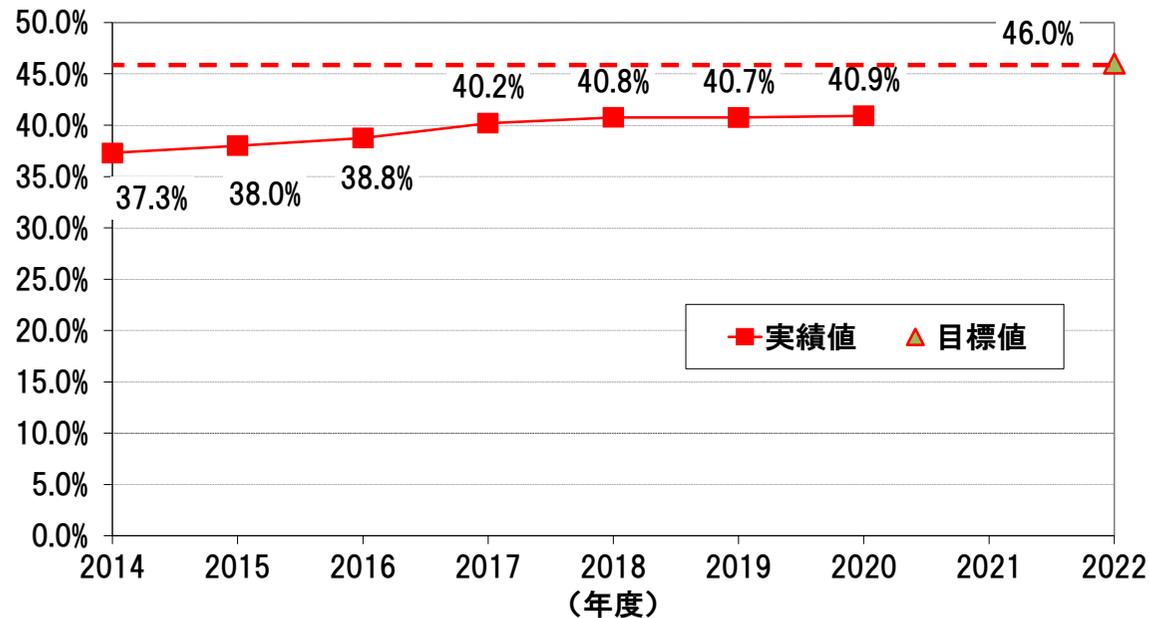
※期間中の発電効率は、処理能力の加重平均にて算出

実績値出典：一般廃棄物処理実態調査

注1：各年度で異なる発電効率を回答している施設については、当該年度の回答値にて算出

注2：2016・2017年度は丹波市クリーンセンター（0.73%）及び萩・長門清掃工場（0.078%）、2019・2020年度は恵庭市焼却施設（57.5%）を除いて算出

④廃棄物エネルギーを地域を含めた外部に供給している施設の割合



$$\text{外部エネルギー供給施設割合 (\%)} = \frac{\text{外部エネルギー供給施設数}^{\ast 1}}{\text{総焼却施設数}^{\ast 2}} \times 100$$

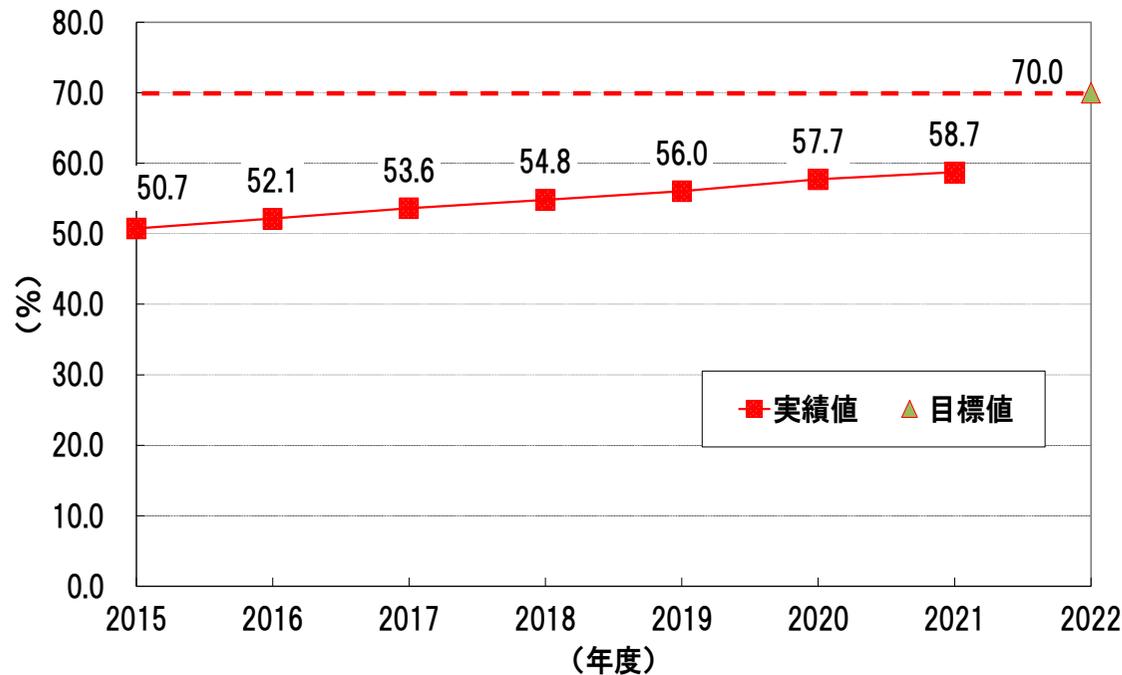
※1：余熱利用の状況として「外部」を含む施設数に、「外部」を含まないものの売電量に0以外の数値がある施設数を追加

※2：廃止施設を除く

実績値出典：一般廃棄物処理実態調査

現行の廃棄物処理施設整備計画の指標の進捗状況

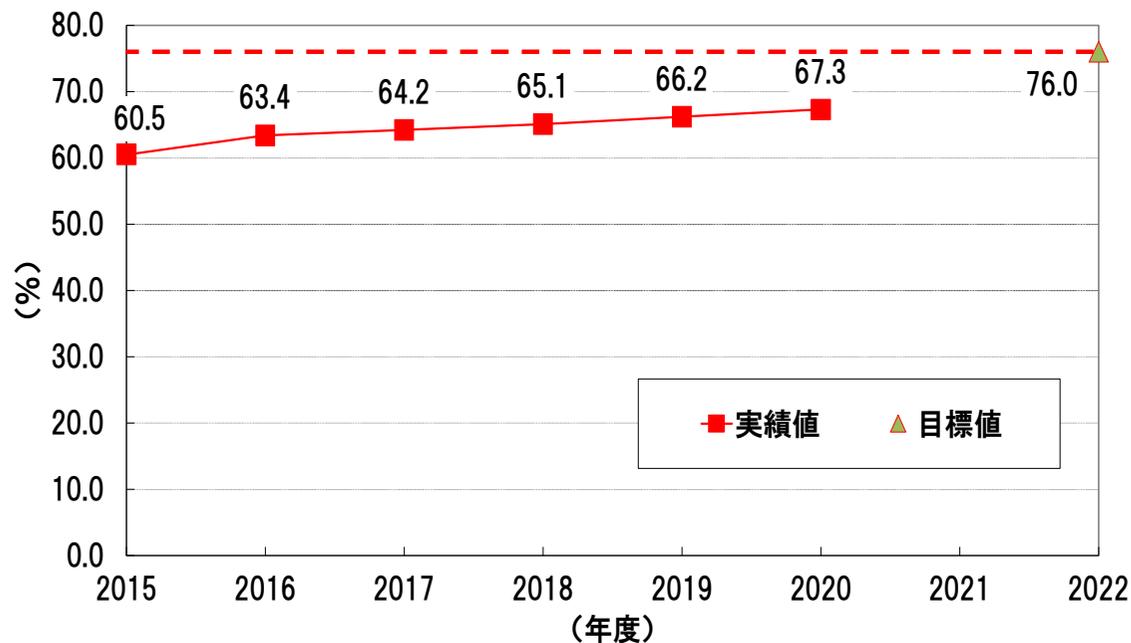
⑤浄化槽整備区域内の浄化槽人口普及率



$$\text{浄化槽人口普及率 (\%)} = \frac{\text{浄化槽普及人口}}{\text{浄化槽整備区域内全人口}} \times 100$$

実績値出典：（2015～2020実績値）令和3年度浄化槽整備事業の進捗状況評価に関する調査検討業務 報告書
 （2021実績値）汚水処理人口の普及状況に係る調査

⑥浄化槽整備区域内の合併処理浄化槽の基数割合

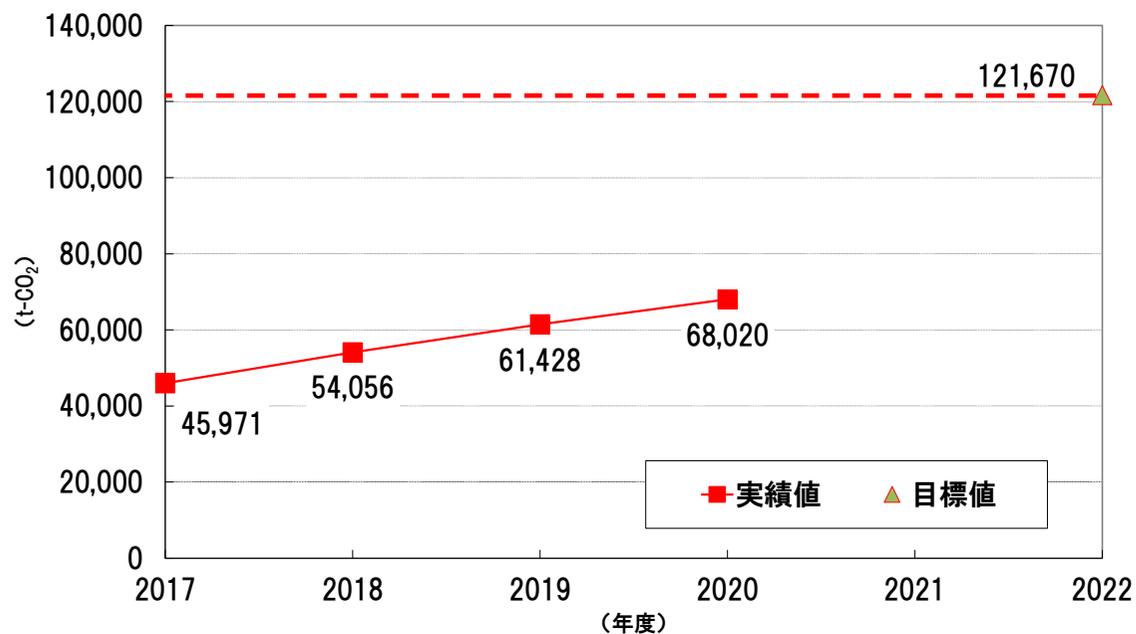


$$\text{合併処理浄化槽基数割合 (\%)} = \frac{\text{単独処理浄化槽基数}}{\text{合併処理浄化槽基数} + \text{単独処理浄化槽基数}} \times 100$$

実績値出典：令和3年度浄化槽整備事業の進捗状況評価に関する調査検討業務 報告書

現行の廃棄物処理施設整備計画の指標の進捗状況

⑦省エネ型浄化槽の導入によるCO2排出削減量



実績値出典：令和3年度浄化槽整備事業の進捗状況評価に関する調査検討業務 報告書

(補助指標:先進的省エネ型浄化槽導入基数)

